



2005年10月28日

各位

会社名 日本電気硝子株式会社
 コード番号 5214 (東証・大証第一部)
 問合せ先 取締役常務執行役員 阿閉 正美
 TEL 077-537-1700

欧州におけるブラウン管用ガラス事業の整理、退職金制度の廃止 および平成18年3月期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、欧州でブラウン管(CRT)用ガラス事業を営む英国子会社の解散およびチェコ合併事業の解消、並びに退職金制度の廃止について決議いたしました。

これらに係る特別損失の発生を織り込み、平成18年3月期の業績予想を修正いたします。

1. 欧州におけるCRT用ガラス事業の整理

テレビやコンピュータモニタなど表示装置の分野においてCRTから薄型パネルディスプレイへの移行が進み、CRTの生産は世界的に縮小しつつあります。欧州においてもCRTメーカーの工場閉鎖が相次ぎ、CRT用ガラスの需要が急激に縮小、アジア製品との競合も加わって価格低下が続いています。

こうした市場環境のもとで、英国子会社およびチェコ合併会社とも本年に入って事業環境が急激に悪化、回復の見通しも得られないため、英国子会社における生産を本年内に停止して同子会社を解散するとともに、チェコ合併会社について当社保有の同社株式等を合併相手方に譲渡して合併を解消し、当社グループのCRT用ガラス事業をアジア地域に集約するものです。

(1) 英国子会社の解散

- ・ 会社の名称 ニッポン・エレクトリック・グラス・UK Limited
- ・ 所在地 英国 ウェールズ カーディフ市
- ・ 代表者氏名 社長 田中誠一
- ・ 子会社の概要

事業内容 CRT用ガラスの製造・販売
 設立年月 1995年1月
 資本金 1億英ポンド(当社100%)
 株主資本 約242億円(04年12月期)
 総資産 約287億円(")
 決算期 12月

最近の業績 (億円)

	売上高	営業利益
2004年12月期	187	2
2005年6月中間期	58	11

- ・ 解散に伴う損失額 連結：約160億円 単独：約100億円
- ・ 解散の時期 本年度中(予定)
- ・ 今後の見通し 同社の業容は急激に縮小しているため、本件解散による今後の連結業績への影響は軽微です。

(2) チェコ合併事業の解消

- ・ 合併会社の名称 エスティーヴィー・グラス a.s.
- ・ 所在地 チェコ共和国バラスケ・メジリチ市

・合併事業の概要

事業内容 CRT用ファンネルガラス（CRTの後部ガラス）の製造・販売
 資本金 755百万チェココルナ：約34億円
 （当社25% ショット社(独)75%）
 持分法適用会社ではありません

- ・合併解消に伴う損失額 連結・単独とも：約26億円
- ・合併解消の時期 本年内（予定）
- ・今後の見通し 本件合併解消による今後の業績への影響は軽微です。

2. 退職金制度の廃止

退職給付債務にかかる将来のリスクを回避するために、2006年3月末をもって退職金制度並びに税制適格退職年金制度を廃止します。併せて、退職金前払い制度を導入し、社員による運用手段として確定拠出年金制度を拡充します。

ちなみに、当社は2001年に厚生年金基金を解散、2004年に役員退職慰労金制度を廃止しており、本件制度改訂により退職に関わる債務を次年度以降に持ち越さない仕組みに移行することになります。

当制度改訂に伴う特別損失は連結・単独ともに約80億円の見込みです。

3. 平成18年3月期業績予想の修正

連 結		(単位：百万円)		
	売上高	経常利益	当期純利益	
前回発表予想(A) (平成17年5月11日発表)	305,000	49,000	23,000	
今回修正予想(B)	305,000	49,000	9,000	
増減額 (B-A)	0	0	14,000	
増減率	-	-	60.9%	
前期実績	310,198	49,236	11,954	
単 独		売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成17年5月11日発表)		230,000	42,000	19,000
今回修正予想(B)		230,000	42,000	8,000
増減額 (B-A)		0	0	11,000
増減率		-	-	57.9%
前期実績		223,461	43,124	3,007

・修正の理由

表示装置分野におけるCRT、液晶パネル、プラズマディスプレイパネルなど各種デバイス間の競合並びに参入企業間の競争の動向、表示装置や各種部品・材料市場における需給関係や価格動向、原油や諸原料の価格動向など、先行きは極めて不透明で予測が難しい状況にあるため、売上高ないし経常利益については見直しを留保させていただきます。

上述の2件に伴う特別損失の発生を織り込み、当期純利益の予想を上記の通り修正いたします。

以 上